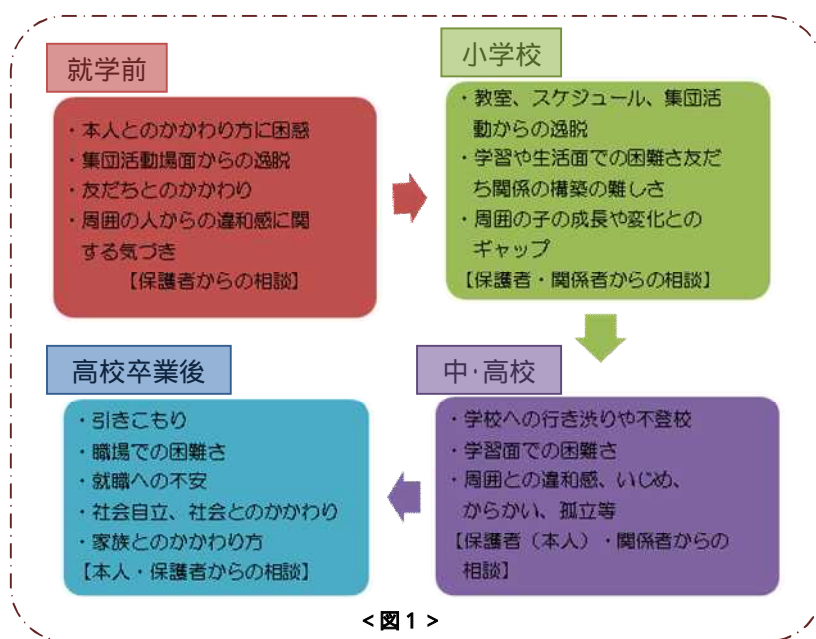


発達障害をもつ児童生徒の支援について

発達障害者支援センター ふきのとう秋田（以下「支援センター」）には特別支援学校から5名の職員が日替わりで教育支援員として派遣されています。秋田きらり支援学校からは2名の職員が派遣されており、支援センターの職員（社会福祉士、就労支援員、臨床心理士）と一緒に発達障害やその疑いのある本人、その保護者及び関係者からの相談に対応しています。

ここでは、支援センターでの相談支援に携わっている中から見えてきた、年代別の相談内容とそこから考えられる支援のポイントを紹介します。＜図1＞は就学前から高校卒業後までの各年代における主な相談内容を取り上げたものです。



就学前は、本人との関わり方や本人がもつ特性に対する不安、戸惑いといった相談が保護者から、小学校、中学校、高校では、集団行動からの逸脱や友だち関係の構築の難しさ、学習の困難さといった相談が保護者や関係者、あるいは本人からあげられてきます。高校卒業後は就職や社会自立といった、社会とのかかわりに困難を抱えることが本人や保護者からの相談でうかがわれます。

これらのことから、支援のポイントとしては、

将来を見据えて支援をする 本人の困り感に目を向ける 保護者と信頼関係を結ぶ
ということが挙げられます。いかに本人が生きやすくなるかという視点、支援の答えが必ずしもすぐとでるわけではなく、本人をとりまく周囲の協力と連携が必要である、といったことが大事な要素として考えられます。
(本校教育専門監 渡部 透)

『発達障害者支援センター』は発達障害者支援法により位置づけられた専門機関で、各都道府県にあります（政令指定都市にもあります）。秋田県発達障害者支援センター（愛称『ふきのとう秋田』）は、平成19年10月に旧小児療育センター内に開設され、現在はかがやきの丘にある医療療育センター内に移転し、業務を行っています。

子どもから大人まで、（疑いも含め）発達障害のある方やご家族の方などからのご相談をお受けしております。

電話 018-826-8030 Fax 018-826-2414

<http://www.airc.or.jp/fukinotou/f-top.html>

シリーズ医療療育センターとの連携

リハビリ参観

本校は、秋田県立医療療育センターと隣接しており、さまざまな形で連携を図っています。今回は、その中のリハビリ参観についてご紹介します。

本校在籍の児童生徒のほとんどは、医療療育センターで、PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）などのリハビリを受けています。リハビリ担当者からの専門的な見地からの情報を参考に、児童生徒の学校生活での指導上の配慮点を知ることがを目的として、主に学級担任が医療療育センターに出向いてリハビリ参観を行っています。リハビリ参観で大事なことは、「学習のねらい」を聞くのではなく、自分が行おうとしている授業での児童生徒の配慮点を聞いて参考にするということです。医療と教育の違いから、訓練内容をそのまま授業に取り入れるということは決して行ってはならないことです。参観者はあらかじめ質問票を用いて質問したいことを知らせておくことでスムーズに連携を図ることができます。



「きらりNet」本年度最終号に寄せて

地域支援だより「きらりNet」が、今年度の最終号を迎えました。2年目を迎えた秋田きらり支援学校、今年度は「はじめての・・・」がずいぶんたくさんありました。「きらりNet」でも逐一報告させていただきましたが、ふりかえってみますと児童生徒にとっても保護者の皆様にとっても、私たち職員にとっても、思い出の年となりました。

昨年度開催できなかった運動会のテーマは「みんながんばる汗きらり」、学習発表会のテーマは「The First Stage～伝説はここから始まる～」で、みんなで汗光らせながらがんばってここから始めました。

第1回「かがやきの丘祭り」は、500人の皆様においでいただき、出店9店舗、ステージイベント11団体、アトラクション2団体の参加で地域のお祭りになりました。

第49回「東北地区肢体不自由教育研究大会」は、東日本大震災の影響も心配されましたが、東北各県から約100人の先生方が集い、6分科会に分かれて研修しました。

上北手小学校とエリア3校の定期的な交流も始まりました。リンゴの葉摘みを一緒に経験したり、二見まつり（学習発表会）に参加させていただいたりしました。延べ18回、1年生から6年生まで一緒に勉強しました。

今年度は、約1,000人の皆様が学校見学に訪れました。また、延べ127人のボランティアの方々が14回の活動に参加いただきました。「はじめての・・・」は来年度以降、第2回・3回・・・と回を重ねます。多くの人たちに「開放」し、子どもたちとの「交流」を楽しみ、みんなが集って「調和」を大切にする秋田きらり支援学校、平成24年度もよろしく申し上げます。

副校長 塚本 宏明

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記までご連絡ください。



教頭 初山 節子 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirari-s@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573

FAX：018(889)8575